３年生の皆さん　そして　卒業生の皆さんへ

先日、車のドアを開けたら野良猫が飛び込んできて、助手席に座りました。「シートベルトは締めなアカンな」と話しかけたら、「みやぁ」と答えました。いや、ていうかお前誰やねん。

どうも。　高齢者と幼児と動物になぜかモテる古谷です。

あと、知らない土地でもなぜかよく道を尋ねられます。

毎日は同じことの繰り返しですが、そんな毎日の中にちょっとずつ幸せなこともあって、好きなことを楽しめる時間が持てるようなら、それはいい人生なのかなと、最近思うようになりました。

生きていれば、思う通りにいかないことの方が断然多い。けれども、それに拗ねて文句を言ったり人を羨んだりしたってつまらない。自分のもてる限りの力を出しきらなければいけないときは、後悔しないぐらい努力する。そうすればどんな結果でも受け止められる。そして次のステージへ進む気力もわいてくる。あなたたちの目指すところへ、ぜひ歩いて行きましょう。その一歩は、あなたたち自身の力でしか踏み出せません。けれども、あなたの周りにはあなたを支える人たちが大勢見守っています。

実は私は人見知りで動物も苦手。それでも相手が私を選んで近寄るのは、何か私がその人の役に立つ力を持っているからかもしれない。本能でそれを相手が悟って近づくのなら、仕方がない、受けて立ちましょう。４０歳になった頃、やっとそう思えるようになりました。ただ、大きな犬はまだ少し緊張します。尻尾振って走ってこられても。いや、頑張るけど。

あなたたちの人生はこれから。楽しいことや面白いことがたくさんあるはずです。１０年後の幸せな自分を想像して、今日の励みにしましょう。

国語科　古谷純子